

第二十二回

大藏流狂言

吉左右会

きつそうかい

令和六年十一月十七日(日)

於 東急セルリアンタワー 能楽堂 (B2)

等うが勝ちよ。



鎌 二 佐
かまばら じせんせき さどきつね
 腹 石 狐

第二十二回 吉左右会

狂言組

お話し

大藏 教義

佐渡 狐

佐渡のお百姓

上田 圭輔

越後のお百姓

大藏 康誠

お奏者

小梶 直人

二人は都の奏者(役人)に裁定を頼むことに。佐渡のお百姓は奏者に賄賂を渡して「佐渡に狐はいる」と証言してもらうのですが、じつは一度も狐を目にしたことがなく、こっそりとその姿形を教わって切り抜けようとしています。ところが最後に「狐の鳴き声は？」と聞かれてしまい……。問い詰める・カンニングする・ヒントを囁く。三者の掛け合いが絶妙な狂言です。

二千石

無断欠勤した太郎冠者を叱りつける主人。けれども都見物をしてきたと聞き、巷の賑わいについて尋ねます。そこで都で流行っていた謡を披露する太郎冠者。すると突然、主人は激怒して「それは先祖が恩賞を受ける元となった家宝の謡で、唐櫃(からびつ)に封じておいたもの。さだめてお前が持ち出して都で流行らせたのだろう」と太刀に手を掛け、太郎冠者を成敗しようとしています。進退窮まった太郎冠者の運命やいかに——？怒りを赦しへと変えていく「笑い」の効能にご注目ください。

鎌腹

鎌腹 夫

大藏 吉次郎

太郎冠者

大藏 基誠

大藏 教義

妻

吉田 信海

仲裁人

大藏 彌太郎

以上

午後四時二十分頃終了

夫である太郎の怠け者っぷりに業を煮やした妻。鎌を振り上げて太郎を追い掛け回します。間一髪で仲裁が入り、太郎には薪拾いに行くよう命じ、妻はなだめて連れ帰ることに。仕方なく山へ向かう太郎でしたが、妻に侮辱され、周囲からも後ろ指を指されるくらいなら死んでしまおう、と決意します。鎌で腹を切ろうとしますが痛くてギブアップ。首を掻き切ろうとしますが恐ろしくて無理。そこへ太郎が自害しようとしていると聞きつけた妻が駆け戻ってきて……。死をも笑いにしてしまう狂言の真骨頂です。

令和6年11月17日(日)

午後2時開演(午後1時15分開場)
於 東急セルリアンタワー能楽堂(B2)

大藏吉次郎家ファンの集いのご案内

公演終了後、日頃から大藏吉次郎家を応援してくださっている皆さまと直接お目にかかり、語りあう場をご用意しました。ぜひご参加ください。

- 時間: 11月17日(日)17:00開演 ※吉左右会終演後
 - 場所: ベルマーレカフェ渋谷 ※能楽堂から徒歩3分
 - 費用: 4,000円(後援会会員) 5,000円(非会員)
 - 限定50名様
 - お申込み & 入会
- 予習すれば 楽しさ倍増!
- 大藏教義による解説動画を配信中です。

FAXお申し込みフォーム 第22回 吉左右会 03-3329-5511

ご住所 〒	
お名前	お電話番号
ご希望のチケットと枚数	席 枚

■チケット

A席指定 (正面席) 7,000円

B席自由 (脇正面・中正面) 5,000円(2,500円)

※()内は学生料金
 ※後援会員はいずれも1,000円引き
 ※後援会割引、学生割引は前売りのみです
 ※学生は小学生～大学生まで

■お申し込み

フォームズ
<https://ws.formzu.net/dist/S645989307/>

メール
kichijirou.kyoudenkai@gmail.com

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>で検索

■お問い合わせ

大藏流吉次郎狂言会事務局
 TEL: 03-3329-1835 MAIL: info@kichijirou-kyoudenkai.jp

